

このたび、名寄市教育委員会委員をお引き受けすることとなりました北野裕介です。

子どもが学校に通うようになってから、PTA 活動や地域行事などを通じて、少しずつ教育に関わるようになりました。それまではどこか他人事だった学校の出来事が、自然と自分ごとになっていき、気づけば学校や地域、そして子どもたちのことを考える時間が日々の中で当たり前になっていました。

そんな中、最近の子どもたちの学びの環境には驚かされることが多くあります。その中の一つとして、タブレット端末を使いこなし、情報を調べ、考えをまとめ、発表までしている姿を見ると、「いつの間にこんな時代になったのか」と圧倒されます。便利な道具が当たり前にある今、教育のあり方も大きく変わってきているのだと感じています。

しかし、どんなに時代が進んでも、人と人とのつながりの中で育まれるものの価値は変わらないと思っています。誰かに助けてもらった経験、困ったときに声をかけ合った記憶、地域の中で見守られている安心感。そうした日々の積み重ねこそが、子どもたちの心の土台になると信じています。

私自身、農業という仕事柄、思いどおりにいかないことが日常です。だからこそ、失敗と向き合い、周りとの支え合いながら前進していく力の大切さを実感しています。教育の場でも、失敗を恐れず挑戦し、困ったときに声をかけ合えるような関係性があってほしいと願っています。

失敗することもあるでしょう。しかし、そこで立ち止まらずに考えたり、周囲に頼ったりしながら前へ進む力を、子どもたちには身につけてほしいと思います。今はまだ小さな背中でも、これからの人生の中で経験を重ね、できることを少しずつ増やしていく。その姿には、伸び代しかないと感じさせられます。

これまで多くの方に支えてもらいながら過ごしてきた自分が、今度は次の世代のために何かを返す番だと思っています。教育の専門家ではありませんが、だからこそ見えること、伝えられることもあると信じています。子どもたちの未来を、学校・家庭・地域が手を取り合って育んでいけるよう、少しでもお力になればなと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。